



及川敏幸前沢総合支所長から記念品を受け取るミサヲさん



子どもたちからのお祝いの花束を受け取る淳子さん



小沢昌記市長から記念品を受け取り記念撮影するキエさん

長女の山合祐子さん(74)と次女の山合祥子さん(70)は「家族旅行のとき、夜中まで私たちの洋服を作ってくれた」と母の優しさに感謝していました。

市は、8月に満百歳を迎えた4人に記念品を贈り、長寿を祝いました。
菊池ミサヲさん 前沢区字前野IIは衣川区杉野に生まれ、18歳で故・茂さんと結婚。6女をもうけ、現在は孫6人、ひ孫13人、玄孫6人に恵まれています。食べることよりも本が好きな読書家で、刺しゅうや編み物なども本を読んで独学で覚え、セーターなどを編んでは孫たちにプレゼントしていました。

最近はずつなぎ絵やドリルを解いて楽しんでいるというミサヲさんは「趣味があるか
今野淳子さん 前沢区字五人町IIは平泉町に生まれ、故・福蔵さんと結婚。2男3女をもうけ、現在は孫8人、ひ孫5人に恵まれています。銀行員として働く夫を支えながら家を守るしっかり者で、子育てしながら自宅で和裁を教えていたそうです。また、夫と2人で能の謡や仕舞をたしなみ、施設に入所してから、行事の際に仕舞を披露したこともあります。
長男の晃さん(77)は「皆

さんのお世話になり百歳を迎えることができた」と感謝を述べました。
廣野キエさん 江刺区岩谷堂字下惣田IIは同区稲瀬に生まれ、20歳のころに上京。25歳で理髪店を開業し、最盛期には3店舗を経営するなど経営者として成功を収めたほか、市への寄付を行いヒロノ福祉パーク建設に尽力されました。車好きで、75歳ごろまで自ら運転する車で頻りに帰省していたというキエさん。甥の妻の紀子さん(76)は「帰ってくるたびに、体にいい食べ物をお教えた。健康に気をつけていたから長生きできたのだろう」と長寿の秘訣を語りました。

皆川八千代さん 水沢区星ガ丘IIは旧大東町猿沢に生まれ、25歳で故・守男さんと結婚。2女をもうけ、現在は孫2人に恵まれています。家庭科の教師として水沢協和女学院(現在の水沢第一高校)などに勤めた八千代さん。夫の守男さんも書道の高校教師で、その影響を受け50代から始めた書道を趣味にしながら、102歳で亡くなった守男さんのため90代まで台所仕事をしていた。
長女の山合祐子さん(74)と次女の山合祥子さん(70)は「家族旅行のとき、夜中まで私たちの洋服を作ってくれた」と母の優しさに感謝していました。

祝 百歳おめでとう

市国民健康保険にご加入中の皆さんへ

国民健康保険証 更新のお知らせ

現在使用している国民健康保険被保険者証(以下、保険証)の有効期限は、9月30日までです。新しい保険証は9月下旬に、世帯ごとに郵送します。届いたら、注意事項をよく読んで使用しましょう。

■問い合わせ=本庁健康増進課国保係(内線242、243、244)、各総合支所国民健康保険担当課

◇国保税は期限内に納入しましょう

特別な事情がなく国民健康保険税を滞納している人には、通常の保険証ではなく、有効期限の短い**短期被保険者証**や、医療費の全額をいったん自己負担しなければならない**被保険者資格証明書**を交付する場合があります。

◇保険の変更などがあつたら市の窓口へ

国民健康保険の加入・脱退や保険証の再発行をするには、市の窓口で手続きが必要です。必要書類を準備の上、保険の異動があつた日から**14日以内**に手続きをしてください。

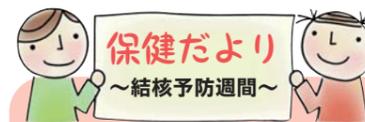
■必要書類

- 加入**…社会保険の資格喪失証明書、本人確認書類、印鑑、年金手帳
- 脱退**…社会保険被保険者証(加入者全員分)、国民健康保険被保険者証、本人確認書類、印鑑、年金手帳
- 再発行**…本人確認書類



◀新しい保険証は薄紫色です

本人確認書類は、運転免許証やパスポート、個人番号カードなど顔写真入りのもは1点、介護保険被保険者証や各種年金証書など顔写真のないものは2点以上が必要です。

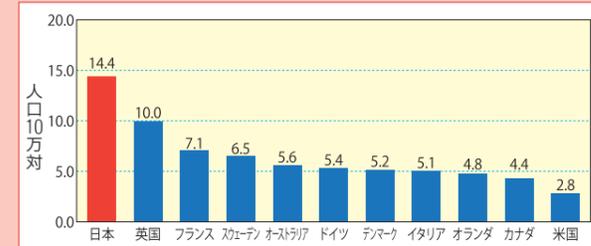


■長引く咳は結核かも! 9/24~30は結核予防週間

かつて「国民病」と呼ばれるほど全国にまん延し、恐れられていた結核。国内では、現在も1日に56人が新たに発症し、6人が命を落とす重大な感染症です。県内でも年間約150人が発症しています。

結核菌は、感染しても体の抵抗力が強ければ発病せず休眠状態に入ります。高齢化が進む日本では、若いころに感染した結核菌が高齢になって免疫が衰

■日本と諸外国の結核罹患率



(厚生労働省 平成27年結核登録者情報調査年報集計結果より)

えたときに活動を始め発病するケースが多く、日本の罹患率14.4(人口10万対)はアメリカの約5倍、オランダの3倍と、欧米諸国に比べ高くなっています。

■予防と定期検診、そして早めの受診を

日本の罹患率の高さは、免疫を持たない若い世代や、診断の遅れによる集団感染が増加していることも要因といわれています。満1歳の誕生日前日まで無料で受けられるBCGワクチンの予防接種をしっかりと受けさせ、40歳以上の方は、10月まで実施している市の結核健康診断や肺がん検診を利用して、年1回は胸のレントゲン検査を受けましょう。

結核菌は人から人にうつり、初期には咳や痰といった風邪のような症状が出ます。2週間以上咳や痰が続くときは受診しましょう。発見が遅れると重症になるばかりか、気付かないうちに周囲の人にうつす恐れがあります。早期発見・早期治療があなたと家族、そして社会を守ることに繋がります。

■問い合わせ=水沢保健センター(☎4511)

姉妹都市(オーストリア共和国ロイテ市・ブライテンヴァング市)との青少年交換交流事業を実施しました



岩谷堂高校で鹿踊りを体験(8月8日)

国際姉妹都市のオーストリア共和国ロイテ市・ブライテンヴァング市との青少年交換交流事業を8月に実施しました。青少年を相互に受け入れて交流を図るこの事業は、旧江刺市と両市との間で平成7年に始まり、現在は隔年で実施しているものです。

8月6日~12日の7日間、両市の訪問団6人が来訪。本市の訪問団員宅にホームステイして家族と交流しながら、市内の高校や県内の景勝地などを訪れ、日本の文化に触れました。

8月20日~28日に本市訪問団が両姉妹都市を訪れた様子は、次号(広報おうしゅう10月号)の紙面で団員の高校生たちがレポートします。お楽しみに!